

様式第5号 (第6条関係)

昭和54年10月27日

高知市議会議長 様

会派名 参政党高知市議員団  
代表者名 川村 栄一

第2四半期政務活動費収支報告書

高知市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、下記のとおり提出します。

1 収 入

項 目	金 額 (円)
前 期 繰 越 額	200,000
第2四半期政務活動費	300,000
利 息	0
合 計	500,000

2 支 出

項 目	金 額 (円)
調 査 研 究 費	0
研 修 費	40,395
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0
会 議 費	0
資 料 作 成 費	0
資 料 購 入 費	0
広 報 広 聴 費	0
人 件 費	0
事 務 諸 費	0
合 計	40,395

3 収支差引額 (繰越額)

金 459,605 円

様式第7号 (第6条関係)

活動内容報告書兼  
 政務活動費支出明細書

会派名: 岩手県議会 岩手県会派 岩手県会派 岩手県会派 岩手県会派  
 岩手県会派 岩手県会派 岩手県会派 岩手県会派 岩手県会派

会派名:

活動内容等	期間又は月日	平成27年7月21日(月) 平成28年8月1日(火)	
	支出先	岩手県会派, (公財)岩手県庁舎管理公社, 岩手県庁舎管理公社	
目的・内容・結果等	全県庁舎管理公社一周年記念行事に参加。 全県庁舎管理公社の各部署で、今後の議会活動の ための取り組みについて、各部署の代表者から、今後の取り組みの 方向性について、全県庁舎管理公社の取り組みの 状況もまた、各部署の具体的な取り組みの事例も 伺った。この取り組みは、今後の取り組みである。		
※ 行政視察を行った場合は、「行政視察報告書」を添付してください。			
支出金額等	項目	使途内容の明細, 積算の基礎等	金額(円)
	調査研究費		
	研修費	旅費 27,300円 研修費 260,149円	403,950
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	人件費		
	事務諸費		
合計			403,950
領収証書及び支払証明書添付枚数		/	枚
備考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

高知市報酬並に費用弁償条例の規定による旅

### 旅行計画兼旅費明細書

月日	出発地	経路	到着地	宿泊地	鉄道費				船賃	航空賃	車賃		日当	宿泊料		食卓料	計
					路程 キロメートル	運賃	急行 料金	計			定額 キロメートル	実費額		日数	定額		
7月31日	高知 (6:00)	岡山	唐崎 (11:25)	大津市	412.6	7,590	6,660	14,250				0.5	1,500	1	4,300		20,050
8月1日	唐崎 (13:20)	岡山	高知 (18:48)		412.6	7,590	6,660	14,250				1	3,000				17,250
								0									0
								0									0
								0									0
支度料			円				円	円	円	円	キロメートル		円		円	円	(支給額)円
旅費雑費			円	合計	825.2	15,180	13,320	28,500	0	0	0	0.5	4,500	1.0	4,300	0	37,300

○宿泊指定(1泊2日 6,900円 ※(研修費2,600円込) 朝1 昼1 夕1 食付)  
 ○7/31は昼食が用意されているため半日当とする。

備考

(注) 括弧内に旅行開始時刻と旅行終了時刻を記載すること。

〈四銀〉キャッシュサービス

ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。  
ただいまのお取引の明細は下記のとおりでございます。ご確認ください。



お取引日 05-07-24 取扱店番 0125 0001 9971

銀行番号 支店番号 口座番号

取引区分 お振込 お取引金額 ¥6,900

お取引後の残高

お支払可能残高

万円札	5千円札	2千円札	千円札	500円	100円	50円
1	0	0	0	0	0	0
10円	5円	1円	手数料	おつり		
0	0	0	¥495	¥2,605		

お受取人  
 サイセ ンゴクンチヨウソクケンシユウサイ  
 ダン様  
 ご依頼人  
 サンセイトウコウチシキ ダンタイヒヨウノムラ  
 エイチ様  
 088-878-7095  
 10:57

※裏面の「ご案内」をご覧ください。

全国研第269号  
令和5年6月19日

高知県 高知市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団  
全国市町村国際文化研修所  
学長 植松 浩二 (公印省略)

滋賀県大津市唐崎二丁目1 3番1号  
登録番号 T6040005002305

### 研修受講の決定について

先にお申し込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。  
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続き等についてよろしくお願いたします。

氏名	野村 栄一
コース名	令和5年度第1回市町村議会議員特別セミナー (来所による受講)
研修期間	令和5年7月31日(月) ~ 8月1日(火)

#### 1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。  
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただきます、別途請求書は発行しません。



(1) 納入金額：6,900円 (内訳)      研修費(@1,300)      2,600円  
  食費                       2,000円  
  研修生活動費         2,300円

(2) 指定期間：令和5年7月20日(木) ~ 7月26日(水)

(3) 指定口座： No. [REDACTED]  
                  No. [REDACTED]

名義人： サイ センコクジョウリンカンシュウザ イタン  
          ゼンコクジョウリンコクサイアンカンシュウジョ  
          (公財) 全国市町村研修財団  
          全国市町村国際文化研修所

- 注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。  
注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。  
注3) 振込手数料は、貴団体で負担願います。  
注4) 今回の通知文書は試験的に公印省略としております。不都合等ございましたらお知らせください。

- 2 受講者に対する連絡指導について  
同封した以下の書類を受講者に渡していただき、受講者が必要な事前の準備を整え  
たうえ、所定の日時（令和5年7月31日 11:00～12:00）に研修所に入所するよう指  
導してください。  
・受講にあたっての留意事項（受講者用）  
・時間割  
・JR湖西線時刻表／研修所周辺地図
- 3 受講者を研修に専念させることについて  
研修期間中は、研修に専念していただくため、緊急の場合を除き、職務の都合によ  
り途中退所や一時帰庁するのはもちろんのこと、職務関連の電話連絡を受けることの  
ないよう、事前準備についてお伝えください。
- 4 研修所への利用交通機関について  
研修所は、JR湖西線・唐崎駅より徒歩3分です。唐崎駅には快速・新快速列車は  
停車しませんので、ご注意ください。  
所内の駐車スペースには限りがありますので、来所の際は、なるべく公共交通機関  
をご利用ください。なお、研修期間中は、休日を除いて車での外出はできません。
- 5 最終日の宿泊について  
最終日の宿泊はできませんので、当日帰れない場合は、別途宿泊場所の確保及び手  
当の支給等の用意をお願いします。  
最終日の研修終了時刻は、12:30頃です。最終日の昼食は、研修経費に含まれてお  
りません。
- 6 受講申込みの取消等について  
この受講決定通知受領後の受講申込みの取消（受講辞退）は、原則として認めませ  
ん。疾病その他真に止むを得ない事由により、受講が困難となった場合には、直ちに  
その旨を当研修所（教務部）に連絡してください。  
なお、受講辞退となった場合であっても、ご負担いただく経費（手配済み物品の費  
用等）が発生することがありますので、ご了承ください。
- 7 途中退所について  
研修期間中、受講者に、他の受講者等に著しく迷惑を及ぼす行為、研修所の規律を  
乱す行為その他公務員としてふさわしくない行為が認められる場合は、貴職に通知し  
たうえで、退所を命ずることがあります。
- 8 感染症等への対応について  
当研修所では、マスクの着用については、個人の選択を尊重することとしています  
が、集団研修を実施している組織として、教室等の換気やアルコール消毒液の設置、  
受講者数に応じた配席の工夫など、可能な範囲で新型コロナウイルス感染症等の感染  
拡大防止策を講じていくこととしております。  
また、体調不良等の方については、マスク着用の要請や受講をご遠慮いただくこと  
もありますので、あらかじめご承知下さい。
- 9 問い合わせ先  
全国市町村国際文化研修所（JIAM）  
【研修に関すること】 教務部 TEL 077-578-5932 担当：    
【経費納入に関すること】 経理課 TEL 077-578-5931

# 第1回市町村議会議員 特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議会の議員には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

今回の研修では、「まちづくり」というテーマのもと、各分野でご活躍の先生方からご講演をいただき、改めて地域を見つめ直すとともに、地方議員に求められる役割について多角的に考えていただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

## 開催要領

日 程

令和5年7月31日(月)～8月1日(火)(2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

来所による受講: 150人

※途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講: 50人

※オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材(1人1台)やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。

「来所による受講」、「オンラインによる受講」とともに、募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、**先着順**とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修: 来所受講のみ) ※外泊はできません。

経 費

来所による受講: 6,900円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

オンラインによる受講: 2,000円

申込期限

令和5年6月12日(月)まで

※先着順のため、申込期限前に締め切らせていただく場合がございます。

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。  
来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、どちらか一つのみお申し込みください。  
[Web申込み]が不可能な場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申し込みください。  
※受講申込書は、JIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

令和5年  
7月  
31日(月)

11:00~  
入寮受付・昼食

13:00~  
開講式・日程説明

13:15~14:45

**講義** 脱炭素先行地域「真庭」の挑戦

～地域資源を生かした真庭市の戦略～

岡山県真庭市 市長 太田 昇氏

15:05~16:35

**講義** 未来の年表～人口減少日本で地方に起きること、すべきこと～

一般社団法人 人口減少対策総合研究所 理事長 河合 雅司氏

17:30~

**交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:30

**講義** Z世代とこれからのまちづくり

芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター 教授 原田 曜平氏

10:50~12:20

**講義** その地域づくり、古くない?

～全国280以上の自治体と共創してきた、地域づくりの秘訣～

株式会社あわえ 代表取締役 吉田 基晴氏

12:20~12:30

閉講・事務連絡

令和5年  
8月  
1日(火)

講師紹介

岡山県真庭市 市長 太田 昇(おおた のぼる)氏

1951年岡山県生まれ。京都大学法学部卒業。1975年に京都府へ入庁し、財政課長、知事室長、総務部長等を経て、2010年から京都府副知事を務めた後、2013年4月に真庭市長に就任、現在3期目。

真庭市の持続的発展のためには、地域資源を見出し、活用し、連携していくことが一つの方策であるという考えのもと、豊かな木質資源を活用したバイオマス発電やCLT(直交集成版)の普及など、里山真庭の多彩な地域資源を活かした戦略的取組に挑戦している。

一般社団法人 人口減少対策総合研究所 理事長 河合 雅司(かわい まさし)氏

1963年名古屋市生まれ。中央大学卒業。産経新聞社論説委員を経て現職。現在、高知大学客員教授、大正大学客員教授、厚生労働省など政府の有識者会議委員も務める。これまでに日本医師会総合政策研究機構客員研究員などを歴任。2014年に「ファイザー医学記事賞」大賞のほか受賞多数。主な著書に、累計100万部超のベストセラー『未来の年表』(講談社現代新書)シリーズなど。

芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター 教授 原田 曜平(はらだ ようへい)氏

1977年東京生まれ。慶應義塾大学商学部卒業後、広告代理店に入社。ストラテジックプランニング局、生活総合研究所、研究開発局を経て、2022年4月より現職。その他信州大学・特任教授。BSテレビ東京番組審査委員会。マーケティングアナリスト。2023年JAAA広告賞・新人部門賞を受賞。専門は、若者の消費・メディア行動研究及びマーケティング。

主な著書に「寡欲都市TOKYO若者の地方移住と新しい地方創生」(角川新書)、「Z世代に学ぶ超バズテク図鑑」(PHP研究所)、「シン世代マーケティングメガヒットのカギをにぎる!!」(ぱる出版)、「Z世代若者はなぜインスタ・TikTokにハマるのか?」(光文社新書)など。

株式会社あわえ 代表取締役 吉田 基晴(よしだ もとはる)氏

1971年徳島県美波町生まれ。神戸市外国語大学卒業。自身の徳島へのサテライトオフィス進出をきっかけに、地方の暮らしの中で感じた地域課題をビジネスの力で解決したいという思いから、パブリックベンチャーの(株)あわえを設立。「日本の地方を再興し、地方の力で日本を元気にする」ことを目指し、地方へのサテライトオフィス誘致や起業・創業の支援を軸とした地方振興事業に取り組む。2018年「本社は田舎に限る」(講談社+α新書)を上梓し、地方へのサテライトオフィス誘致や起業・創業の支援を軸とした地方振興事業に取り組む。2018年「本社は田舎に限る」(講談社+α新書)を上梓し、地方へのサテライトオフィス誘致や起業・創業の支援を軸とした地方振興事業に取り組む。2019年公開の映画「波乗りオフィスへようこそ」の原案となる。2021年4月、地域の継続的な発展には次世代育成が必要との思いから、全国の地域を舞台に新たな教育づくりに挑む(一社)ミライの学校を設立。同年、地域森林資源の活用を通じて「森林関係人口」の創出を軸にした、中山間地域の振興に取り組む(株)四国の右下木の会社を設立。美波町政策参与。四国大学特認教授。内閣官房「未来技術×地方創生検討会」委員。J-LIS経営審議委員会委員。ふるさと財団調査研究部会委員。総務省地域力創造アドバイザー。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。



令和5年度「第1回市町村議会議員特別セミナー」時間割

(敬称略)

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00-)
7/31	月		11:00 入寮受付 13:00 開講式、日程説明	【講義】 (13:15-14:45) 脱炭素先行地域「真庭」の挑 戦～地域資源を生かした真庭 市の戦略～ 岡山県真庭市 市長 太田 昇 【講堂】	【講義】 (15:05-16:35) 未来の年表 ～人口減少日本で地方に起き ること、すべきこと～ 一般社団法人人口減少対策 総合研究所 理事長 河合 雅司 【講堂】	16:45- 入寮オリエンテーション	
8/1	火	【講義】 (9:00-10:30) Z世代とこれからの まちづくり 芝浦工業大学 デザイン工学部 教授 原田 曜平 【講堂】	【講義】 (10:50-12:20) その地域づくり、古くない？ ～全国280以上の自治体と共創し てきた、地域づくりの秘訣～ 株式会社あわえ 代表取締役 吉田 基晴 【講堂】	12:20-12:30 閉講・事務連絡			